

# 能登牛応援星短 project

団体名 ● コスメティックベコリン♡ / 代表者名 ● 元木望愛 (女子短期大学部経営実務科2年)

## はじめに(背景・目的・目標)

私たちは、約1年能登牛のブランド向上を目指して活動してきました。数多くあるブランド牛の中でも能登牛は、世間では知らない人がほとんどなのが現状です。県内のブランド牛能登牛を若者によるSNSの発信力でより幅広い世代へ広め、能登牛の応援団体として多くの人々に魅力を知っていただくことを目的としています。

## 活動内容

私たちは、先輩方の研究を引き継ぎ、能登牛キャラクター「ベコリン」をモチーフにした販促活動アイテム用Tシャツ・パーカー・タオルの他、ボディコロンの制作にもとりかかりました。特に、タオル、ボディコロンのプロデュースには、株式会社ケイズ様やヨシダ印刷様など、企業と産学連携した商品考案を実現することができました。これらを活用し、10月21 - 22日に「農林漁業まつり」に参加しました。このイベントで、少しでも能登牛の商品を説明するべく、10月16日に石川県食肉公社内を訪問しました。これは、石川県農林水産部畜産振興課・防疫対策課をはじめ、石川県畜産協会、能登牛生産者協議会、能登牛銘柄牛推進協議会様のご協力の元、学生ではなかなか観ることができない貴重な流通現場を見学することができましたそのおかげで、「農林漁業まつり」でこれまで以上に能登牛のPR活動に貢献することができました。



## 成果、結果の考察

能登牛の販促品を新たなジャンルのものでプロデュースすることができ、能登牛そのものの存在を広めることが出来ました。ブランド牛であるため、高値で消費者になかなか手が出にくい能登牛ですが、試食会を開催することで能登牛のおいしさや魅力を幅広い世代の多くの人に発信することが出来たと思います。

## 今後の課題、展望

一年間、能登牛応援活動を行う中で、今まで知らなかった能登牛の特徴や貴重性などを知り、もっとたくさんの人に知ってもらいたいという思いが強くなりました。女子短大生ならではの目線で販促品のプロデュースを行い、さまざまな世代の方に販促品を配布したことで、私たちの目的である幅広い年代の方々に能登牛をアピールすることが出来たと思います。やりたいこと・やるべきことをなかなか具体的にできなくて、思うように行動できていないと焦りを感じたことがありました。私たちが考案した商品が形となり、農林漁業まつりで能登牛と私たちの活動を一般のお客様にアピールできたことが嬉しかったです。これからは、この活動を後輩へ引き継ぎながら、学生らしい独自性のあるアイデアでこれまで以上に能登牛の知名度を上げてほしいと思います。

